

# 大 塚 人

## 2001-35

福岡大学附属 大塚高等学校同窓会  
〒810-0044 福岡市中央区六本松1丁目12番1号  
同窓会事務局/TEL-FAX 092-714-1081  
発行人 安藤文六  
編集人 平島文彦  
印刷 福岡総合印刷株式会社

福岡大学附属大塚高等学校同窓会会報

### 二十一世紀を迎えて



大塚高等学校  
同窓会会長  
安藤文六

同窓生の皆さんお元気に  
お過ごしでしょうか。  
さて、二十一世紀を迎え  
社会の新しい息吹を感じる  
このころです。これからの  
時代は、変化の著しい時代  
になるだろうと想像します。  
情報通信網の革新をはじめ、  
今より少子化・高齢化が進  
み、経済状況も当面は、一

進一退の状況が続くものと思います。

母校におきましても、少子化の影響で高校生数が減少し、その影響を強く受けるだろうと思います。私学を取り巻く環境は、年ごとに厳しくなっております。学校の伝統を受け継ぎ、更に発展させるには、先生方の努力だけでは、どうしようもない状況になってまいりました。他の私学を見ると、さまざまな経済的優遇制度や進学保証などを充実させて生徒募集を行なっているのに対して、母校の場合は、少し遅れ気味ではないかと思えます。

このような折、母校の一層の発展を願って、母校部活等支援「特別会員」を募集いたします。同窓生が、一体となって母校を支援したいと考えています。たくさんの方の協力を得たいと思います。なお「特別会員」になつていただいた皆様には、特別会員相互交流の機会をつくり、異業種交流や親睦を深めてまいります。同窓会では、昨年より、ホームページを開設いたしました。しかし、まだ全体へ周知できていない面もあり、利用がもう少し少ないようです。ホームページを活用し、同窓会の情報や会員同士の情報交換に役立てていただきたいと思います。

同窓会活動を充実させるには、どうしても年会費の納入率を高める必要があります。会費は、郵便局もしくは、銀行からの振込みになりますが、振込みに行く時間が無いとか、煩わしいということ、振込みが遅れ気味になっていることと存じます。ご多忙な方については、数年分の会費を一括して振込みという方法をとられたら、行く時間が少なくなり楽になるかと存じます。

例年五月の第三土曜日に、同窓会総会を行なっております。本年は昨年と同じホテルニューオータニで開催します。会場は、交通の便も良いし、中洲にも近いところです。総会の参加パーティー券は、各学年の幹事が用意してありますので、ご連絡下さい。なお総会当日も会場で、参加パーティー券を求めることが出来ます。

皆さまの多数のご参加をお待ちしています。校長先生をはじめ恩師の先生方も参加されます。久しぶりに旧交を温めましょう。誘い合つてご参加下さい。

### 新校長就任のご挨拶

創立五十余年の伝統と歴史を持つ福岡大学附属大塚中学校・高等学校校長に平成十一年より就任することになりましたので、大塚高等学校同窓会会長諸氏に謹んでひとことご挨拶申し上げますとともに更なるご支援をお願い申し上げます。本学園が今日、福岡県の私立学校の雄としての地位を確立できましたことは、ひとえに本学園の先業教職員をはじめ、同窓会の皆様のご努力によるものと心より感謝申し上げます。特に学園創期に開かれた先業教職員並びに卒業生諸氏のご苦勞は大変なものだったと推察致しております。私ども教職員は今一度その原点に立ち戻って建学の精神をふまえた本学の教育理念を確立し、研鑽を重ね、私学大塚学園として特立した生徒指導を実践し、本学園を更に向上させることが皆様に対する感謝の表し方ではないかと思っております。さて、先が見えにくい日本経済の状況下において全国的に私立中学校・高等学校の受験者数が減少傾向にあります。大塚学園のおかれた状況も決して例外ではありません。また、高校進学率97%近い状況の中で少子化傾向は現在も進行中で、ピーク時の1990年の15歳人口206万人が2010年は42%減の119万人に推移するとの予想です。それに伴う公立高校の統廃合・再編成は必至の状況であります。あわせて今日の情報化社会の進化速度は凄まじいものがあり、それにとまない社会全体における価値観の多様化も進展しています。教育の場においても、その価値観に対応する必要性が年々高まっています。この様な時代に、本学園の生徒に望むことは、高い目標を掲げ、自主的に学習し、積極的に部活動や生徒会活動に参加し、運営に加わり、自己に挑戦する姿勢と自分の考えを自分の言葉で相手に伝える力を自ら育成することです。また学校という集団生活の場を通して社会生活を営むための基本的なルールを身に付け、他者の「いたみ」を理解し、それを実践で示すことができる「心の豊かな人間性」を形成することであり、教育改革が進むなか、我々教職員一同はこれからの学校づくりをどう進めていくか慎重に速やかに、一つずつ解決していかなければなりません。それは大塚学園に課された社会的使命でもあります。

福岡大学附属大塚中学校・高等学校を取り巻く各級の状況は厳しい部分がありますが、輝かしい伝統と歴史を誇る本学園が着実に前進し21世紀の日本をリードし、世界に誇る人材を育成できるような努力する所存でございます。

同窓会の皆様方の変わらぬご支援とご助言をよろしくお願い申し上げます。5月の同窓会総会におきまして、同窓会諸氏にお会い出来ることをたいへん楽しみにしております。



校長  
青木重夫